

# 私達の長穂

紫蘭花号

編集発行

住みよい長穂を  
つくる協議会  
長穂公民館

No. 185

H 一三七一

## 初めて体験した ホタル祭り

長穂小学校 教頭 中村 眞理子

いつになく騒然とした雰囲気です。一日が始まった。「ホタルの里」が、活気立つ瞬間である。

広い運動場にステージ用の大きなトラックが入ってくると、人々の動きがあらわだしくなる。次々と組み立てられていくテント、音響の機材、そして、出店の道具。小学校が、あつという間にお祭り会場に早変わり。

今年で一八回目と聞いたが、さすがに手際がよい動きと協力体制には、感心するばかりであった。

心配された天候も嘘のように晴れ上がり、午後には、夏を思わせるような日差しが照りつける。それぞれのテントでは、汗を流しながら準備に精が出る。提灯、紅白の幕、色とりどりの看板が備え付けられ、いよいよホタル祭りの開幕となった。

そわそわと落ち着かないのは私だけだったろう。焼き上がった焼き鳥を夢中で袋に詰めて渡していく。後から後から延々と並ぶお客さんの列。いつのまにか本業を忘れて焼鳥屋のおもしろさに浸っていた。合間に子どもたちの徳利乱舞太鼓やリコーダーの演奏を聴き声援を送る。練習の成果も表れ、また、お祭りの雰囲気は演奏を盛り上げてくれる。ほつと一安心をして前を見るとグラウンドにぎっしりと詰まった人、人、人。

日暮れと共にお祭りは最高潮となった。澄んだ長穂の夜空に幻想的なホタルの光が広がっていく。空高くきらめきながら上っていく光の一つ一つに、長穂の人々の夢と郷土への熱い思いを感じ、このお祭りが、長穂の活力となっていることに気がついた。

華やかなお祭りは、多くの人々の「苦勞と努力に支えられていること」を子どもたちも気付いていくことだろう。そして、郷土愛、協働・奉仕の精神、連帯感、お互いを思いやる心を、地域の人々の姿から学んでいってほしいと思う。

## 土砂災害から身を守りましょう

梅雨のまつただ中です。今年の梅雨は、降る時はどしゃぶりに降る陽性型のようですが、これから、梅雨の後半に向かい、降雨量もますます多くなるのが予想されます。

次のような現象を察知したときは、

土砂災害が直後に起こる可能性があります。直ちに周りの人と安全な場所へ避難してください。

- ◇山鳴りがする。
- ◇川の流れが濁り、流木が混ざり始める。
- ◇雨が降り続けているのに川の水位下がる。
- ◇斜面から水が吹き出す。
- ◇地面にひび割れができる。
- ◇沢や井戸の水が濁る。
- ◇小石がパラパラ落ちてくる。

※避難場所 公民館 小学校 中学校



他校との交流を深めた

## 修学旅行

六年 深町 美鈴

五月二十四、二十五日の二日間、九州へ修学旅行へいきました。私にとつて、小学校生活の大きな思い出となるとても楽しい修学旅行になりました。

一日目は、太宰府天満宮と、吉野ヶ里遺跡、唐津焼窯元へいきました。私が一番楽しみにしていたのは、吉野ヶ里遺跡です。それは社会科の学習で、下調べをしていたからです。

卑弥呼のことや邪馬台国のこと、もちろん吉野ヶ里遺跡についても調べており、見に行けるのがとても楽しみです。吉野ヶ里はとても広く、大きな建物がたくさんありました。大き

な機械のない時代に古代の人々はいつたいどのようにしてこんな大きな建物を作り、何をしていたのだろうかと思いましたが。二日目は、スベイスワールドに行きました。他校の人とも仲よくなり、またどこかで会えるのが楽しみです。

## ◇がんばりましました◇

- 一般の部
- ◎第19回部団対抗バレーボール大会
  - 優勝 下・蒔地組
  - 準優勝 中組
  - 三位 上組

- 小学校の部
- ◎青少年健全育成、青少年非行防止ポスター 奨励賞 一年 萩原 歩
- ◎第42回「母の日」児童画 優 秀 二年 鶴川 素直
- ◎よい歯のコンクール 標語の部 二位 三年 小野 優希
- はみがきは ゆつくり やさしく ていねいに

## ◇七月行事予定◇

- 中2月 期末テスト
- 小2月 登校指導、安全点検、月頭朝会
- 公3火 健康相談
- 中4水 期末テスト
- 小5木 薬物ダメ、ゼツタイ教室
- 公5木 北部地区老人大学（長穂小学校内）
- 中6金 市AET（スコット）来校
- 公8日 北部地区球技大会（穂小グラウンド）
- 小9月 代表委員会、四年学級PTA
- 小11水 登校指導
- 中13金 翔北地区校外指導連絡協議会
- 小13金 クラブ活動、校内水泳大会
- 小16月 着衣水泳指導
- 小17火 給食終了
- 中17火 保護者会
- 中18水 保護者会
- 小18水 学期末保護者会
- 小19木 大掃除、終業式
- 小21土 夏期休業入り
- 小22日 北部P連球技大会

記 天候に恵まれた第十八回種ほたて祭り、近海に、昔はもとより前後の晴天に恵まれたが、昔々の方の熱意と協力によって焼きほたて無事終了することができた。ホタルと聞けば長穂、長穂と言えばホタルが定着してきた。今日この頃、かじが蛙が鳴く長穂の里 親子